

**単椎間頸椎前方固定術後の再手術：従来法とプレート固定法の比較
(Revision surgery after a single-level anterior cervical discectomy
and fusion with and without anterior cervical plating)に関する研究**

1. 研究の対象

2000年1月から2020年12月までに当院で単椎間の頸椎前方除圧固定術を受けられ、術後1年以上通院歴のある方

2. 研究目的・方法

頸椎前方除圧固定術は頸椎疾患に対する確立した手術術式ですが、自家骨を除圧椎間に設置し固定する従来法にみられた採骨部障害や長期の外固定が必要などの欠点を克服すべく、頸椎前方プレートや椎間ケージなどのインプラント（インプラント手術）の使用が広く行われています。しかし、再手術の頻度や再手術までの期間、インプラント手術の有用性など、まだ明らかでない点があります。そこで、当院で単椎間の頸椎前方除圧固定術を施行された患者さんを対象に診療録データや画像検査を用いて従来法とインプラント手術の比較を後ろ向きに行い再手術の頻度や再手術までの期間、インプラント手術の有用性などについて明らかにします。

研究期間は倫理委員会承認後～2024年3月31日までになります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、画像検査データ、手術治療の日時と方法、性別、生年月日、カルテ番号等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：高知県南国市岡豊町小蓮 電話：088-880-2386

研究責任者：高知大学医学部整形外科教室 田所伸朗